

こだいらしょうがいしゃ  
せいかつおうえんがいど  
おーえん

だいじゅうさんごう  
へいせい28ねん  
10がつ20か

# こだいら障がい者 生活応援ガイド

お～えん

第13号  
平成28年10月20日



とくしゅう ちいきせいかつしえんきよてん について

## ☆特集 「地域生活支援拠点」について

しょうがいのある方が、<sup>かた</sup>地域（<sup>こだいらし</sup>小平市）で<sup>あんしん</sup>安心して暮らしていくために、<sup>ちいき</sup>地域の抱える課題・<sup>かだい</sup>事情に  
おうじて、<sup>きょじゅうしえん</sup>居住支援のための機能（<sup>きのお</sup>相談、<sup>たいけん</sup>体験の機会・<sup>ばしょ</sup>場所、<sup>きんきゅうじ</sup>緊急時の受け入れ・<sup>たいおう</sup>対応、<sup>ちいき</sup>地域の支援  
体制づくり）を<sup>せいび</sup>整備していくことが<sup>もと</sup>求められています。これを、「<sup>ちいきせいかつしえんきよてん</sup>地域生活支援拠点」と呼んでいま  
す。<sup>こだいらし</sup>小平市においても、<sup>へいせい</sup>平成27年<sup>ねん</sup>4月<sup>がつ</sup>からスタートしている「<sup>だいよんき</sup>第四期<sup>しょうがいふくしけいかく</sup>障害福祉計画」の中に、<sup>ちいき</sup>地域  
生活支援拠点を<sup>しな</sup>市内に1か所<sup>しよせいび</sup>整備することになっていますが、<sup>こだいらし</sup>小平市では<sup>ぐたいてき</sup>具体的に<sup>せいび</sup>どういった整備が  
されていくのでしょうか。

# 八王子市における地域生活支援拠点事業について

小平市地域自立支援協議会委員

NPO法人多摩在宅支援センター 代表 添田 雅宏

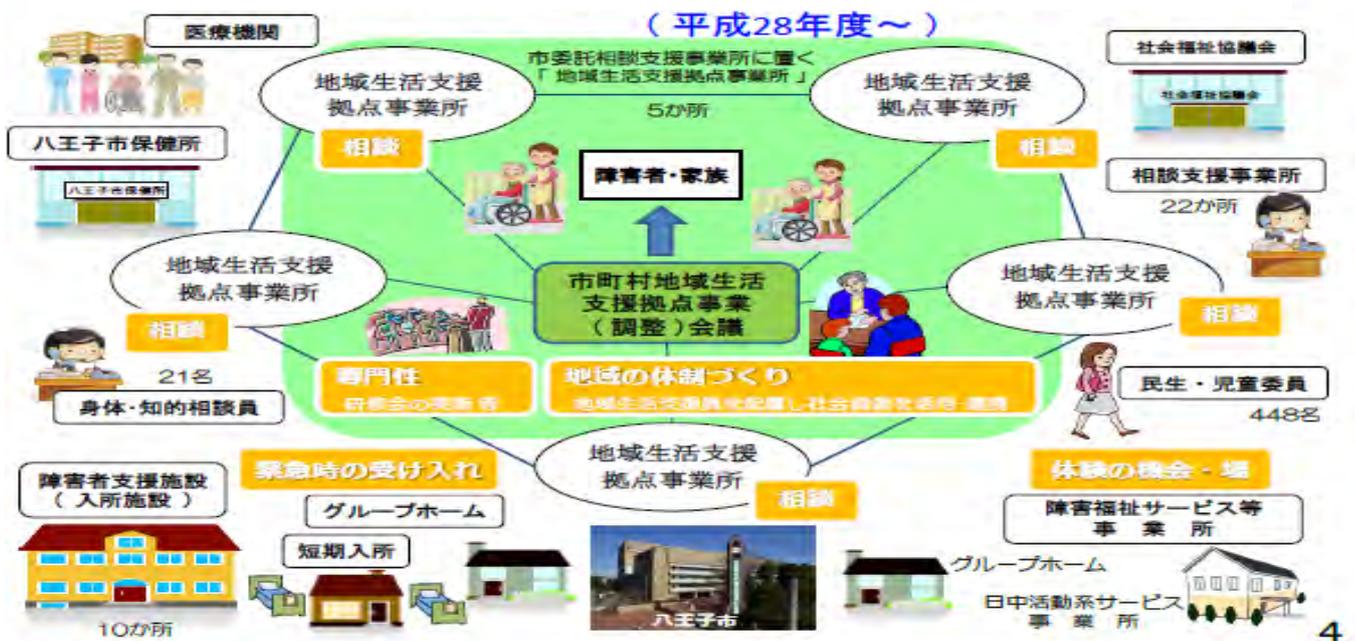
## はじめに

私が所属している八王子市自立支援協議会地域移行・定着支援部会では平成27年度より地域生活拠点モデル事業を始め、厚生労働省が進める地域生活拠点事業のイメージを理解し、八王子地域における地域福祉サービスの充実を図ろうとしています。

## 八王子市における事業の目的

障がい者の高齢化、重度化や「親亡き後」を考えて、障がい者（児）の地域生活支援を進めることや、障がい者（児）が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、さまざまな支援を続けて届けることができる仕組みを作ります。さらに地域の事業者が役割を分担し、途切れることのない支援を行う体制を作ることも目的としています。また精神障がい者・知的障がい者が精神科病院や施設から出てひとり暮らしをしたり、家族のもとに帰ることを進める役割も期待されています。

## 八王子市地域生活支援拠点事業における『面的整備型』のイメージ図



## 事業の内容など

今あるサービスを使っていない障がい者（児）、または支援することが難しい障がい者（児）を対象として、障がい者が地域で暮らす上で必要な支援を行う「地域生活支援拠点」を作ります。そのためには面的な体制の整備、が必要になります。（面的な整備の説明は上の図を参考にしてください。）また、市が委託する相談支援事業所5か所に「地域生活支援準備サポート要員」を新たに置いて、以下の事業を行っています。

- 事業内容>
- ①福祉サービスにつながない人を、今ある制度・サービスにつなげる。
  - ②当事者の相談にのり、アドバイスする。 ③見守りや訪問支援を行う。
  - ④短期入所（ショートステイ）などを利用した緊急時の対応を行う。

<本年度予算額> 1,000万円(5事業所に各200万円の補助金：八王子市単独拠出事業)

# 小平市における地域生活支援拠点について

小平市地域自立支援協議会委員  
生活リハビリセンター六三四  
施設長 山口 建

## 【地域生活支援拠点：モデル事業の実施から見えてきたもの】

全国地域生活支援拠点モデル事業を通して抽出された課題（一部抜粋）

### (1) スタッフの課題

- ① スタッフの欠員が出た場合になかなか人手確保ができないなど福祉人材不足・確保の課題が非常に大きい。
- ② 24時間365日の相談体制を敷いているが、現状では実質的に少数のスタッフで対応することは職員  
の疲弊感がある。
- ③ 新たな暮らしのマネジメント（受け皿資源の確保）については資源不足の感がある。
- ④ 緊急対応の受け止めは、スタッフの負担（急な出勤や超勤対応、臨時的にはあるが連泊対応など）により  
成り立たせている状況がある。

### (2) 地域の社会資源およびサービス内容の課題

- ① 緊急時短期入所の利用が難しい場合がある。現在も入所施設等で定員を超えて対応している状況。常に  
空床を保障する事業所はない。
- ② 母親が長期入院するなどといった場合に、短期入所のたらい回しのような状況が生まれてしまっている。
- ③ 医療的なケアが必要な方への対応がほとんどできない。医療依存度の高い方の緊急時のサービスとして医療  
機関が実施している短期入所があるものの、使いにくい状況があり十分に活用できているとは言えない。

### (3) 危機介入としてのサービスと予防としてのサービスの課題

- ① 「緊急対応」「危機介入」を軸とした支援であるが、緊急の対応に至らないようにアプローチをすると委託  
の相談支援事業との区別が難しくなっている。「安心生活支援事業」と「委託相談」との間での調整  
が必要である。

### (4) 行政との連携と今後のシステムの設計の課題

- ① 24時間いつでも電話をかけられることで、障がいのある本人や家族からの安心感をもっていただける体  
制をめざすとともに、即応性の高い派遣、受入れ（危機介入を含む）を実現できる事業内容の枠組みを検討  
していきたい。
- ② 今後、面的整備とあわせて、多機能型拠点との連携したしくみも必要になっている。その中で、各事業所や機関、  
そして家庭との調整をはじめとしたマネジメントやコーディネートをを行う体制が必要。

## 【小平市の現状と今後の取り組み】

現在、小平市内では委託・特定相談支援事業所が12か所整備されており、また入所・グループホーム・短期  
入所事業も展開されています。課題は山積ですが、まずは今ある資源を有効的に活用しながらの小平市地域生活  
支援拠点バージョンを、手探りですが実施していく必要であると考えます。また、モデル事業実施の中では総合  
支援法に関する自立生活援助の課題が出ています。高齢分野においては、すでに地域密着型サービス事業所とし  
て事業が実施されていて、今後さらなる高齢分野との連携協働は必要です。引き続き、地域自立支援協議会でも  
地域生活支援拠点に関しては、優先課題として議論を重ねていかなければなりません。地域で安心して生活をおく  
る、これは人としてごく当たり前のことです。超えていかなければならない高いハードルはありますが、地域の問題と  
して地域で考え地域で実施していくことが、より一層求められています。

# 【おしらせ】

## ～第44回社協福祉バザー～

日時：平成28年11月3日（木・祝）  
午前9時30分～午後4時（雨天実施）  
場所：小平市福祉会館、駐車場、市民広場  
内容：バザー品の販売  
小平市内の福祉事業所による作品販売  
県人会による特産品の販売と模擬店  
など

## ～第20回精神保健福祉を考えるつどい～

テーマ：こだいらで元気になるフェスティバル  
～それぞれのリカバリーストーリー～  
日時：平成28年11月12日（土）  
13:00～16:30（12:30開場）  
場所：小平元気村おがわ東 屋内広場  
内容：第Ⅰ部 シンポジウム（体験発表）  
第Ⅱ部 発表（コント、合唱など）  
主催：小平地域精神保健福祉業務連絡会

## ～小平市地域自立支援協議会～

第11回「障がい当事者部会」をつくる会  
日時：平成28年11月19日（土）  
13:30～15:30  
場所：たいよう福祉センター  
（障害者福祉センター）  
第12回「障がい当事者部会」をつくる会  
日時：平成29年1月21日（土）  
13:30～15:30  
場所：小平市中央公民館2階 学習室4

## ～第3回みんなでつくる音楽祭 IN小平～

日時：平成28年12月3日（土）  
11:30～19:00  
場所：小平市中央公民館  
内容：音楽で「こころのバリアフリー」を広げます。歌や踊り、演奏、パフォーマンスなどプログラムは盛りだくさん。みんな一緒に楽しみましょう。  
※手話通訳、要約筆記が用意できるステージや、点字プログラムがあります。

★O~en（お～えん）は、ホームページでも見ることができます。

<アドレス> <http://www.syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp>

ホームページでは以下のように進んでください。

[小平市社会福祉協議会](#) > [自立生活支援センターひびき](#) > [自立支援協議会](#) > 「お～えん」

【発行：作成】

小平市地域自立支援協議会 情報部会

【問合わせ】

小平市地域自立支援協議会 事務局

小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき

〒187-0043 小平市学園東町1-19-13

福祉会館2階

TEL (042) 341-6555

FAX (042) 402-0251

じかいはっこう  
次回発行は、

平成29年5月頃

の予定です。

小平市障がい者生活応援ガイド「お～えん」では、皆さまからのご意見・ご感想をお待ちしております。  
上記の事務局（小平市障がい者地域自立生活支援センター ひびき）までお寄せください。よろしくお願ひします。